三木市
SDGs未来都市

誇りを持って暮らせるまち三木

三木市記者発表資料　（令和 8 年 11 月 10 日発表）			
担当部課名	**担当長**	**担当係**	**電話番号**
総合政策部 縁結び課	課長　成瀬拓生 （内線 2382）	地方創生係	0794-82-2000 （内線 2484）

タイトル

移動に係る新たなモビリティ体験×HITOTOKIMIKI

― 連携協定事業　移動に係るコラボイベント！！新たな官民連携モデルへ ―

本件のポイント

・このたび兵庫県三木市は、令和 2 年 2 月 27 日に地方創生に関する包括連携協定を締結しているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社との連携事業として、車以外の新たなモビリティの乗車体験会を HITOTOKIMIKI で開催します
・団地再生につながる実証として、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と連携する BRJ 株式会社に協力いただき新たな移動に係る体験と学びを HITOTOKIMIKI で実施します。
・官民連携により、それぞれの強みやノウハウを掛け合わせたチャレンジです。

説明文

1　日　時　　令和 8 年 11 月 13 日（金）午前 10 時～午後 3 時

2　場　所　　三木市多世代交流施設 HITOTOKIMIKI

3　主な概要

(1)　HITOTOKIMIKI 駐車場での試乗体験（3 輪モビリティ）
(2)　試乗体験前講習会（各回 10 分程度）※別紙チラシを参照ください。
　第一部　午前 10 時～
　第二部　午後 1 時 45 分～

4　主催等

(1)主催　一般社団法人　多様なモビリティの安全性向上推進協会
(2)協力　あいおいニッセイ同和損害保険株式会社/BRJ 株式会社/三木市
　　/HITOTOKIMIKI

5　協力事業者について

(1)あいおいニッセイ同和損害保険株式会社からのコメント
　あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、行動指針の一つに「地域密着」を掲げ、地方公共団体や地域金融機関が各地で進めている地方創生の取り組みへの支援を通じて地域密着活動に取り組んでおります。
　各地にて移動手段の課題は大きなテーマでありますが、このたび三木市の団地再生につながる実証事業に、特色あるパートナーである BRJ 株式会社とともに参画し、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を創造してまいります。

(2)BRJ 株式会社からのコメント

『人と街に感謝される未来の公共交通を創る』をビジョンに掲げ、次世代モビリティのシェアリング事業、レンタル事業、そして地域交通ソリューション事業を展開しています。「安全」を第一に考え、自治体と密接に協力しながら、地方の「交通空白」解消に取り組んでいます。

社長の宮内は社会人としてのキャリアを物流トラックのドライバーとしてスタートしました。約 10 年にわたるトラックドライバー時代に、交通に携わる事業者が長年、朝礼や研修などを通じて、安全に対して真摯に向き合ってきた事を痛感してきました。このときの経験を活かし、『自動運転バス』『TOCKLE』の事業展開において安全を最重要視しています。

本案件は次の SDGs 目標に関連します。

